

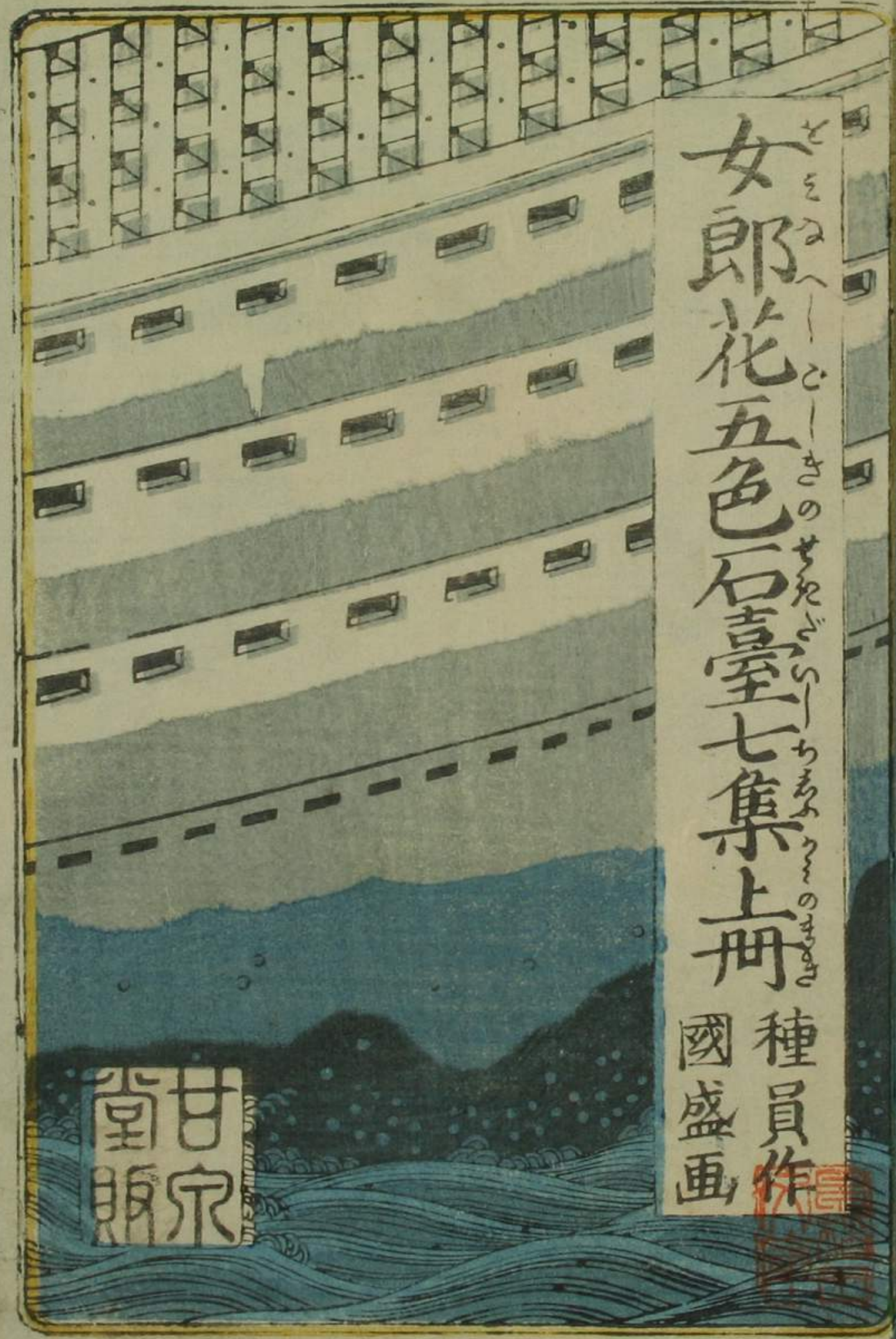
女郎苳五色石臺

柳下亭種員作 第七編

一龍齋國盛畫

甘泉堂





女郎花五色石臺七集上冊

種員作
國盛画

甘泉堂

へ13
3089
6

繪師
種員
作





歌川國盛画

女郎花 七編
五色石臺

柳下亭種員作

上

作題曲五五國魚

下



きんぎょ

形

種貞作

七篇

下冊

國書画

泉市板

此敗醬五色石臺と綴繼ふ及て熟讀するふ第四集下帙ある鐵倉の執事
 安房守憲實が闇君姦臣の爲ふ非命ふ亡ぶる段ふ至りて止せられり
 去程ふ前條ふ屢出繡像四個の勇婦重石遲鷲置津岡根等と
 親の雙言と討われ夫の危急と救ふあり或の愚民と再度とる杯功の殊
 莫大をれせも獨八九邑の小萬のそら卷中ふ名を顯く間々曲亭翁
 の世と辞せし故其所爲の多うとど以是先彼勇婦が比類ある奉勤
 とくも観添ふせをやとて銚摩の茶褐色のそれあつねと夜と逢
 らぬ敷播磨もこのの更説飛く遠吠より培長びける天の話も漸
 小爲果あつて蒼海王と小萬が争鬪一段も又短くあらざるべし

嘉永乙卯肇歳

柳下亭種員記



下巻二編





十
女
行
者
稻
妻
千
重
石
又
の
名
ハ



三
條
木
偶
藏
渾
家
貞
津

十
良
林
七
緒



女
七
緒

九
邑
の
萬



女
時
致
遅
鴛

女
良
在
七
緒



上ノ
 下ノ
 中ノ
 左ノ
 右ノ
 前ノ
 後ノ
 内ノ
 外ノ
 上ノ
 下ノ
 中ノ
 左ノ
 右ノ
 前ノ
 後ノ
 内ノ
 外ノ

上ノ
 下ノ
 中ノ
 左ノ
 右ノ
 前ノ
 後ノ
 内ノ
 外ノ

上ノ
 下ノ
 中ノ
 左ノ
 右ノ
 前ノ
 後ノ
 内ノ
 外ノ



上ノ
 下ノ
 中ノ
 左ノ
 右ノ
 前ノ
 後ノ
 内ノ
 外ノ

上ノ
 下ノ
 中ノ
 左ノ
 右ノ
 前ノ
 後ノ
 内ノ
 外ノ

上ノ
 下ノ
 中ノ
 左ノ
 右ノ
 前ノ
 後ノ
 内ノ
 外ノ

女郎七編

五



九郎が...
 九郎が...
 九郎が...
 九郎が...

九郎が...
 九郎が...
 九郎が...
 九郎が...

九郎が...
 九郎が...
 九郎が...
 九郎が...



九郎が...
 九郎が...
 九郎が...
 九郎が...

九郎が...
 九郎が...
 九郎が...
 九郎が...

九郎が...
 九郎が...
 九郎が...
 九郎が...

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Chinese or Japanese calligraphy, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Chinese or Japanese calligraphy, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive style, likely a diary or account, located in the upper right section of the right page.



Vertical handwritten text on the left margin of the left page, possibly a title or a reference.

萬延辛酉新板目錄

兒雷也豪傑譚

三十七編 柳下亭種員作

風俗淺間嶽

十一編 柳下亭種員作

女郎花五色石臺

八編 柳下亭種員作

不思議塚小說櫻

二編 柳下亭種員作

種員作國盛画



禁方 王壺生肌膏 卅六孔
 金瘡 奇功紙 一枚
 卅四孔
 製茶所 新吉原
 取次所 柳下亭

此画は種員作の國盛画也
 其の意は...
 柳下亭種員作



この山は...
...
...

山は...
...
...

この山は...
...
...

この山は...
...
...



この山は...
...
...

この山は...
...
...

この山は...
...
...

種員作



國盛画

老蚊が暴潮の
手下に属する
圖の後の巻
説

忠臣
貞婦

伊呂波文庫

柳煙亭種文作
一勇齋國芳書

黄金水大盡蓋

為永春水作
一勇齋國芳書

假名
反古

一休

柳下亭種員作
一勇齋國芳書

地本錦繪
翠紙問屋

甘泉堂

是神心齋
和泉屋南



所世所世所
 所世所世所
 所世所世所
 所世所世所



Handwritten text in Japanese characters, including the name 'Kobayashi' and other illegible characters, written vertically. The text is enclosed in a rectangular border. The page also features a faint, large-scale floral pattern in the background.

玉芳画圖



種多造行



女名花
石屋
芳八編

馬琴翁の巻中四編の上巻か七かの雪あり種貞師の物五編下巻外作の熟作せりののるを画工の筆機を失ふ吾師の過失あり何れの路鳥と云ふるを雪と云ふ文字を墨を書と奮を湖の来の唱の哥の意を取て此の解の朝の言を又七編の末に暴の潮が樓の舶を視せるの額に船の玉の宮と書せりは是は大の神の宮にあるに其名を伏せる記す大神をもて船中の王とをある心を含め其の腹稿と吾も宗とすこれらの由來とこと兩先生の趣意を探りて十編を約結を爲す

柳水亭種清述

安政六朱春熟稿
同七申春發兌



尔市 さん

三^{さん}裡^り魂^{こん}道^{どう}と
断^{こと}て万^{ばん}利^り城^{じょう}
公^{こう}民^{みん}小^{せう}施^しと
此^{この}九^{くの}の^編知^ち色^{しき}を

三^{さん}石^{しつ}將^{しょう}勝^{しょう}之^の偽^{いつはり}次^{すけ}女^{むすめ}

女^{むすめ}下^{した}花^{はな}八^{はち}扇^{せん}



赤^{あか}松^{まつ}則^{のり}村^{むら}之^の假^{かり}身^み
須^す摩^ま御^ご前^{ぜん}之^の虚^{うつろ}身^み

女^{むすめ}良^{よし}子^こ十^{じゅう}八^{はち}綱^{なづな}





△動トあしあめ
十ヨ代リ一あふまは
ぬ一人まをこころい
りくこりたたまけく
せ死こまを
ぬふのいん

△あふまはあしあめ
のこころいん
ぬふのいん
せ死こまを
ぬふのいん

△あふまはあしあめ
のこころいん
ぬふのいん
せ死こまを
ぬふのいん

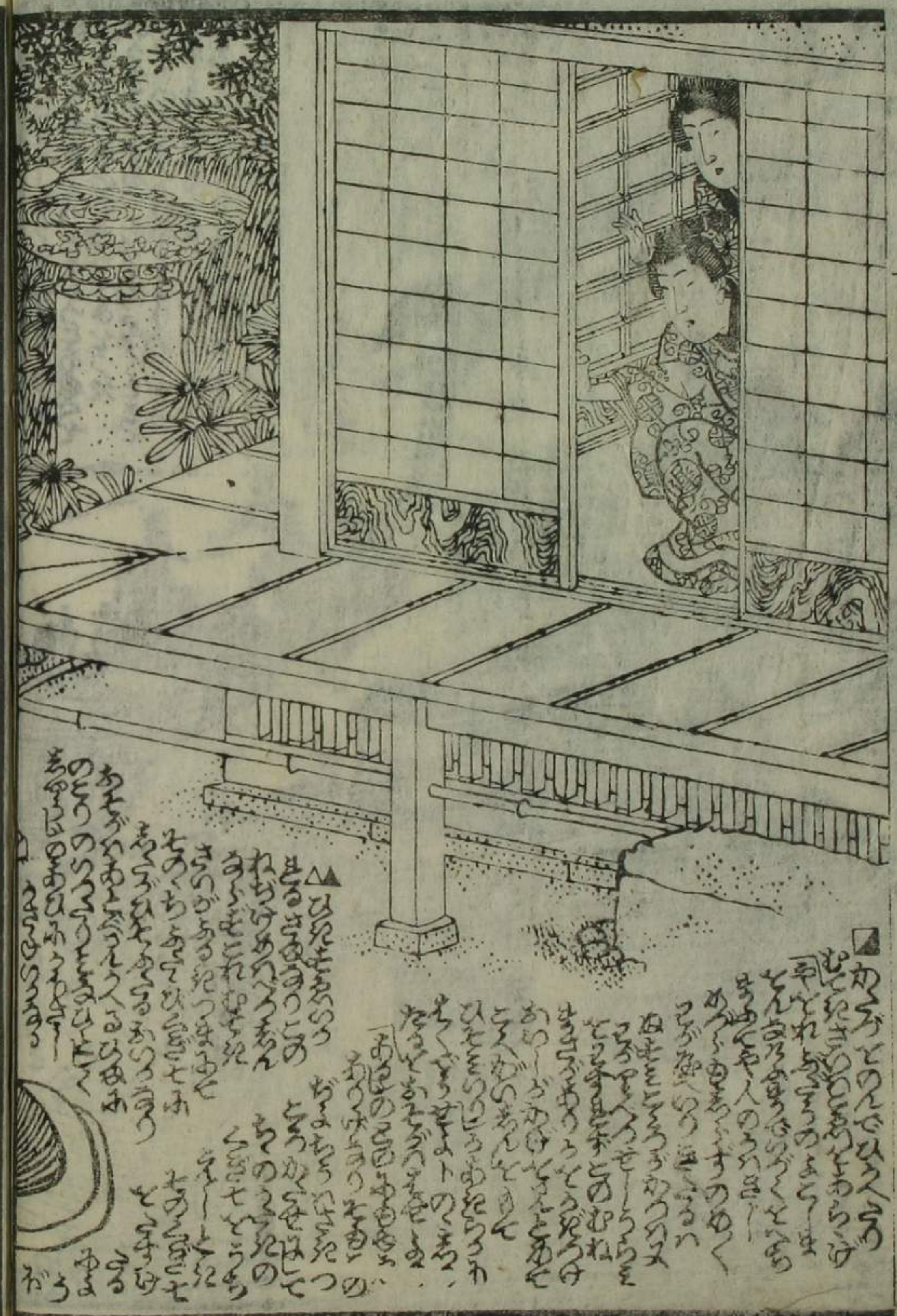


△あふまはあしあめ
のこころいん
ぬふのいん
せ死こまを
ぬふのいん

△あふまはあしあめ
のこころいん
ぬふのいん
せ死こまを
ぬふのいん

△あふまはあしあめ
のこころいん
ぬふのいん
せ死こまを
ぬふのいん

△あふまはあしあめ
のこころいん
ぬふのいん
せ死こまを
ぬふのいん



女良花の縁



桂島
大高島
この島は...
桂島は...
大高島は...
この島は...
桂島は...
大高島は...

桂島
大高島
この島は...
桂島は...
大高島は...
この島は...
桂島は...
大高島は...



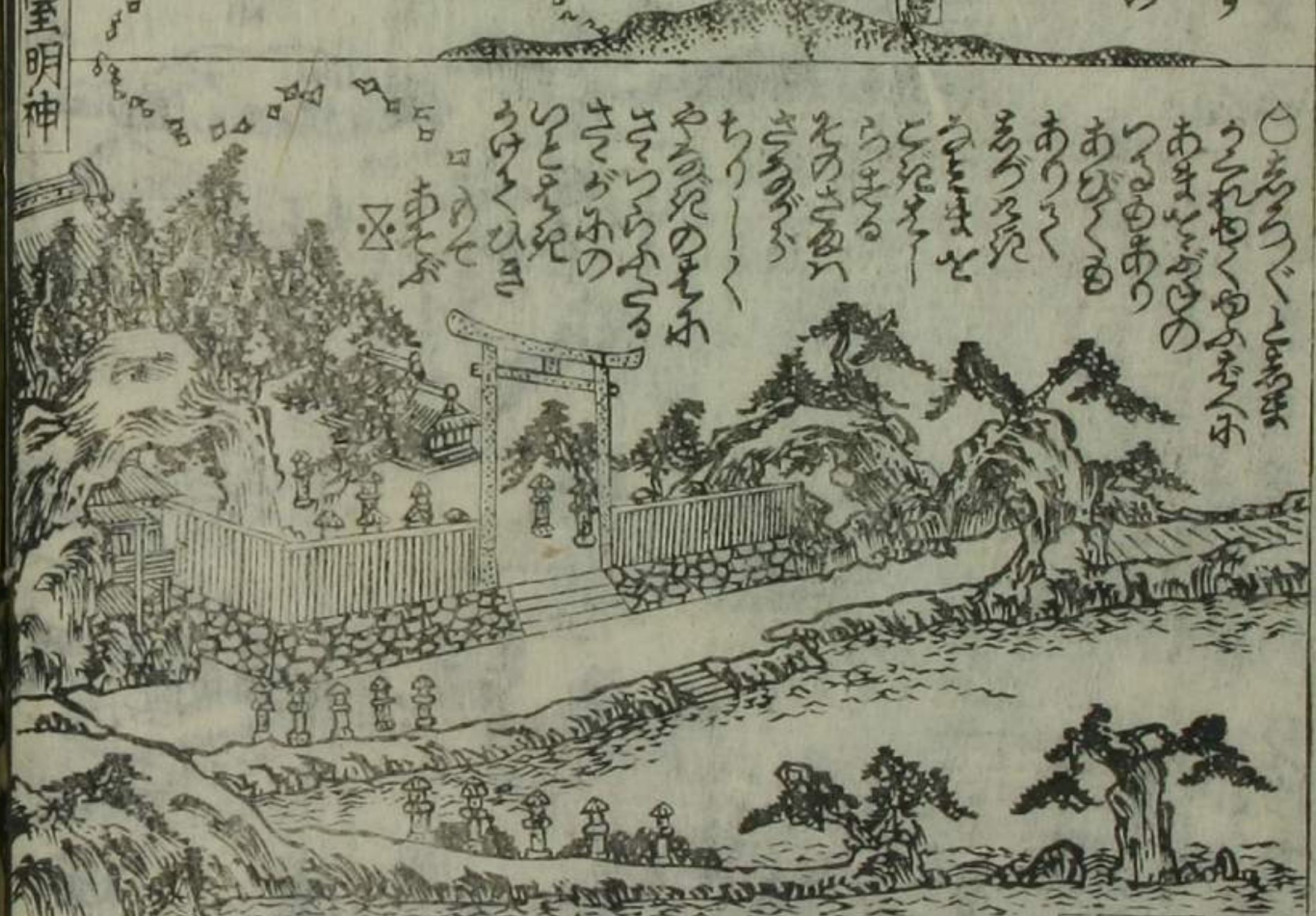
常盤
この島は...
桂島は...
大高島は...
この島は...
桂島は...
大高島は...

大高島

常盤
この島は...
桂島は...
大高島は...
この島は...
桂島は...
大高島は...

元治二乙丑春新版

諸國繁榮遊真双六
 一惠齋芳齋雨
 壽齋國貞雨



種清編次
 國芳圖画
 芳房補助

諸國繁榮遊真双六
 一惠齋芳齋雨
 壽齋國貞雨

黄金水大盡盃
 一惠齋芳齋雨
 壽齋國貞雨

分郎花五色石臺
 柳下亭種員作
 一惠齋芳齋雨

芝神明前
 甘泉堂梓

假名
 休草紙
 同作同雨

風俗
 柳下亭種員作
 一惠齋芳齋雨



女郎花編

十六

Vertical column of handwritten Japanese text at the top of the right page.

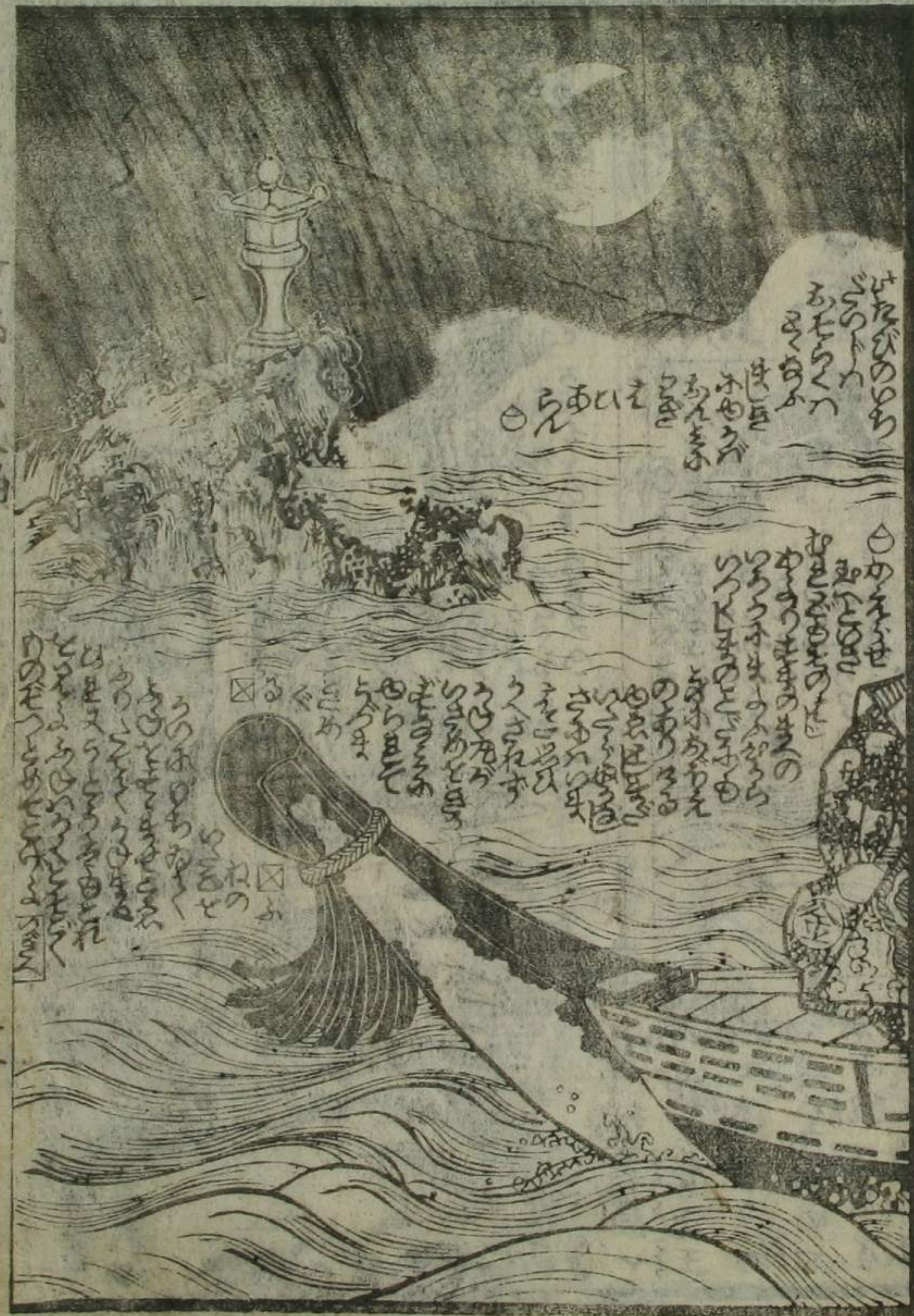


Vertical text on the right edge of the right page.

Vertical text on the right edge of the right page.







種清作



芳房補助
國芳画



兒雷也豪傑譚

四十一編 柳下亭種員作
四十二編 一惠齋芳幾画

新編金瓶梅

初編 十編迄 大尾
曲阜馬琴作
一陽齋豐國画

一陽齋豐國画
陰戲場猿若真似

山開人交來撰 年々出版
わが二居一兼のねまは一二の
之冊くつげねまある名代役者の
せんあふまゝさるをりつらりまのけ
もあつとんまゝ一陽のほまき

小女郎蜘蛛怨宇環

曲阜馬琴作
一陽齋豐國画

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛





五色石臺

編種清作
國芳画

可尔
文庫

玉魚